

就活クエスト in OSAKA 2022 第2弾 実施報告

テ ー マ: 自己分析編『就職と“好き”を組み合わせるには?!』
実施日時: 2023(令和5)年1月28日(土)13:00~15:00
実施場所: キャンパスポート大阪(大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階)
講 師: カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 SBカンパニー スターバックス運営本部
SB運営 近畿エリア ストアマネージャー 北岡 美緒氏
ファシリテーター: 四天王寺大学 キャリアセンター 副センター長・経営学部 准教授 隅田 孝氏
(大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員)
参加学生数: 9大学14名
(大学別) 大阪市立大学1名/大阪教育大学1名/追手門学院大学1名/大阪経済大学5名/
関西大学1名/近畿大学1名/四天王寺大学2名/相愛大学1名/阪南大学1名
(学年別) 1年生:5名/2年生:6名/3年生:3名
企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員会

1.事業趣旨

本プログラムを通じて、バラエティに富んだ体験・成長のための表現(アウトプット)機会を提供し、学生における学修の深化および新たな学習意欲、そして低年次より自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する。それにより、将来に対する選択肢の増幅および多角的・俯瞰的視点の獲得、自己理解に基づく主体的な職業選択や高い職業意識の涵養をはかり、ひいては自主性・独創性あるグローバル人材の育成に貢献することを目指す。また、大阪商工会議所との連携のもと、プログラムを通じて学生が大阪の産業構造を知り、府内の中小企業の魅力に触れる機会を提供する。

2.プログラム概要

| 日程 | 会場 | 内容 |
|-------------------------|------------|--|
| 1月28日(土) 13:00~15:00 | キャンパスポート大阪 | ・プログラム趣旨説明 ・講演/自己分析ワーク ・総括 ・参加証授与 |

3.講演/自己分析ワーク概要

【講演】

自らの就活の時期は氷河期の1年目であり、大変な経験をした。この時、自分の“好き”が分かっていたらもっとよい選択ができたかもしれないと思う。本日はNLPの手法を用いて、参加者同士がコミュニケーションを取り合いながら、“好き”を含む自己理解を深めていく時間としたい。

スタンフォード大学のクランボルト教授が提唱した「ブランドハブスタンス理論(計画的偶発性理論)」によると、個人のキャリアの8割は予想しない偶発的な事象によって決定されるという。近年のキャリアをめぐる環境は目覚ましく変化しており、一生涯、ひとつの会社で働こうと考える人は少ない。偶発性を味方にするために必要な行動指針は好奇心、柔軟性、冒険心、持続性、楽観性の5つだと言われており、これらを身

に付けたひとは強い。この5つの要素を伸ばすために、本日は①自分の現在の価値観を知るワーク、②これからに向けて自身の価値観の幅を広げるワークの2つを行う。

【自己分析ワーク】

① 4つの質問ワーク(自分の現在の価値観を知る)

→周りの空間を占めているもの、時間を使っているもの、エネルギーを費やしているもの、お金を費やしているもの、それぞれについて個人的に振り返る。ペアワークで深めた後、グループにて共有。

② マイヒーロー・マイヒロインワーク(これからに向けて自身の価値観の幅を広げる)

→小学生当時に好きだったヒーロー、ヒロインを複数挙げ、そこから想起される特長をペアワークでピックアップし、気づいていなかった自身の価値観を知る。その後、グループワークにて共有。

4.当日の様子



5. 参加者アンケート

別紙のとおり

就活クエスト in OSAKA 2022 第2弾 参加者アンケート

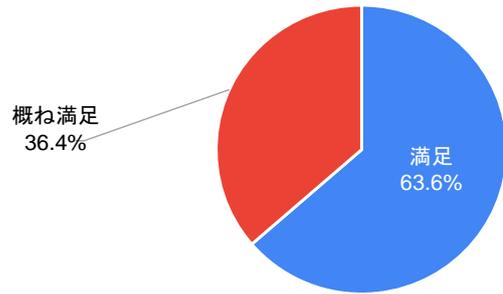
参加者数 9大学14名(回答者数11名)

1. プログラム全体の満足度

(単位:名)

| | |
|-------------|---|
| 満足 | 7 |
| 概ね満足 | 4 |
| 満足できない点があった | 0 |
| 不満 | 0 |

プログラム全体の満足度



2. 上記と回答した理由

【満足】

- ・他大学の学生と交流できるとてもいい機会になった。
- ・普段は話すことのない他の大阪の大学の方々と交流して、自分の視野を広げることができた。
- ・他大学の学生と積極的に関わることができて、自分の新しい一面を確認できた。
- ・他大学の学生との交流で、自分に足りていない価値感などがわかり、改めて自分を知ることができた。
- ・今までとは違った角度で自己分析ができた。

【概ね満足】

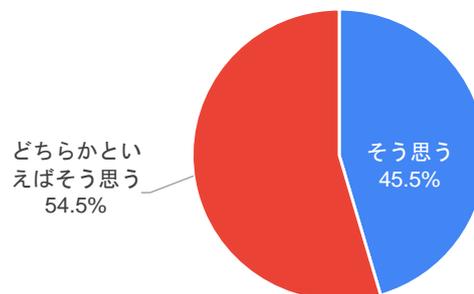
- ・初めて会った他大学の学生と交流し、考え方や自分は自由だということを学ぶことができた。
- ・交流を深めるためにペアワークを取り入れたり、話し合いの時間を長く設けてくださったのがよかった。
- ・今回は自己分析がほとんどだったので、具体的な職種や進路を決めるためには他に何をしたらいいか知りたかった。
- ・講師の方がどのように好きと仕事を掛け合わせることができたのか、聞きたかった。

3. 今回の自己分析ワークは、今後の就活に役立つと思うか

(単位:名)

| | |
|----------------|---|
| そう思う | 5 |
| どちらかといえばそう思う | 6 |
| どちらかといえばそう思わない | 0 |
| そう思わない | 0 |

自己分析ワークは、今後の就活に役立つと思うか



4. 上記と回答した理由

【そう思う】

- ・今まで行ってきたものとは違うアプローチだったので、新しい価値観を得ることができた。
- ・今、仲の良い友達とやっても新たなものを発見できそうだと感じた。
- ・価値観などは考えたことがなかったので新鮮だった。
- ・自分の好きを明確にすることができ、周りの好きも知ることができたから。
- ・自分にとって必要なもの、好きなものを知ることができた。

【どちらかといえばそう思う】

- ・自分のことが知れてよかった。
- ・新しい価値観が生まれた。
- ・自分の好きなことについて知ることができた。
- ・自分が参加前まで気づかなかった価値観や考え方を知ることができたから。
- ・今まで気づいていなかった自分の一面を知ったことは今後役立つかもしれないと思う。
- ・自分の考え方や価値観を知ることができたから。

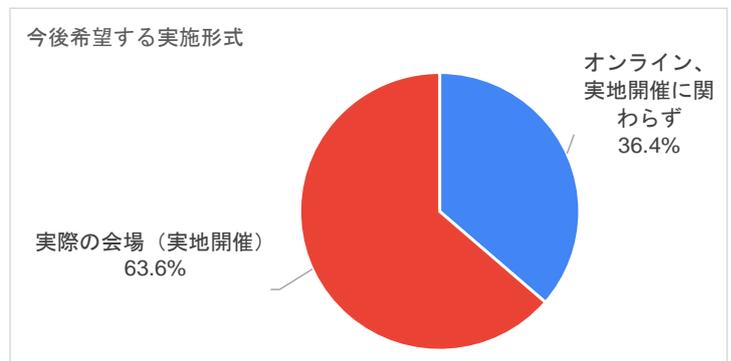
5.その他、プログラムの感想・意見

- ・参加者は自分より年下の子が多かったが、同じ就活をする学生として、とても勉強になった。
- ・1、2年生も多く参加しているなど、向上心のある学生が多く集まっており良い刺激を受けた。
- ・自分の好きなヒーロー・ヒロインからの自己分析はとても面白かった。仲のいい子ともぜひやりたいと感じた。
- ・積極的に発言することができた点がよかった。新しいことを学べて就職に活かすきっかけになった。
- ・講師の方が最初に仰っていた「5つの価値観」について、もう少し知りたいと思った。
- ・紙に書き込んだ例が複数、スライドに映されていたら、より分かりやすかったかなと思う。
- ・パワーポイントが少し見にくかった。白地に淡いピンクの文字は、遠くの席にいるとほとんど読めない。

6.今後希望する実施形式

(単位:名)

| | |
|-----------------|---|
| オンライン、実地開催に関わらず | 4 |
| 実際の会場(実地開催) | 7 |
| オンライン | 0 |



7.上記と回答した理由

【オンライン・実地開催に関わらず】

- ・どんな形でも参加したい。
- ・自分のいい経験になると思うから。
- ・他の学生と交流できたから。
- ・参加費無料で少人数グループワークができて楽しかったから。

【実際の会場(実地開催)を希望】

- ・実際に行くほうが参加意欲が高まるため。
- ・オンラインは話す空気と間が難しいので、話をするなら対面が一番だと思うから。
- ・このような他の大学の学生と話すプログラムは、オンラインではなく、対面の方がより親しみやすいと感じるから。
- ・対面の方がやる気が出るから、コミュニケーションが取りやすいから。
- ・実際に交流する方がすごく話しやすく、楽しいと感じたから。

8.今後、取り上げてほしい業界や職種

- ・芸能・音楽関係、クリエイティブ関係
- ・教育業界、メディア業界
- ・金融・ITなど
- ・観光業界
- ・食品業界